

## 2001年2月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦の中心はカナダの高緯度側に位置していた。アリューシャン低気圧が著しく強く、ヨーロッパ北部からロシア西部にかけても負偏差となり、北極海の東半球側では正偏差であった。ユーラシア大陸では40~50°Nを境に、高緯度で負、中緯度で正偏差が卓越した。アメリカ合衆国西部からカナダはおおむね負偏差、北アメリカ南東部から大西洋西部にかけては正偏差が分布した。偏西風はチベット高原より東側で明瞭に北偏して太平洋東部では分流が顕著だった。大西洋側でも平年より著しく北偏していた。

対流活動はフィリピン、インドネシア付近、東端を除くオーストラリアで平年よりかなり活発で、引き続きラニーニャ傾向であるが、活発域の中心は前月に比べると東寄りであった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、平年ではソロモン諸島付近にある大規模発散域の中心が、それより20度程西偏し、ニューギニア島の南に位置していた。

SOI (南方振動指数) は+1.0と大きな正の値が続い

ている。

### 世界の天候

#### ① オホーツク海西岸から北日本の低温

月平均気温はシベリアやモンゴル、北日本で低く、中国北部やモンゴルでは寒波と大雪、暴風雪による被害が報じられた。

#### ② 中国東部からカロリン諸島の高温

#### ③ インド東部の高温

月平均気温はアジア南部のほとんどの地域で高く、インド東部などで異常高温となった。

#### ④ カナダ南西部の少雨

#### ⑤ 米国中部の多雨

月降水量はカナダ東部から米国中部、アラスカで多くなった。米国では東部や中部を中心に暴風雨(雪)の被害がたびたび報じられた。

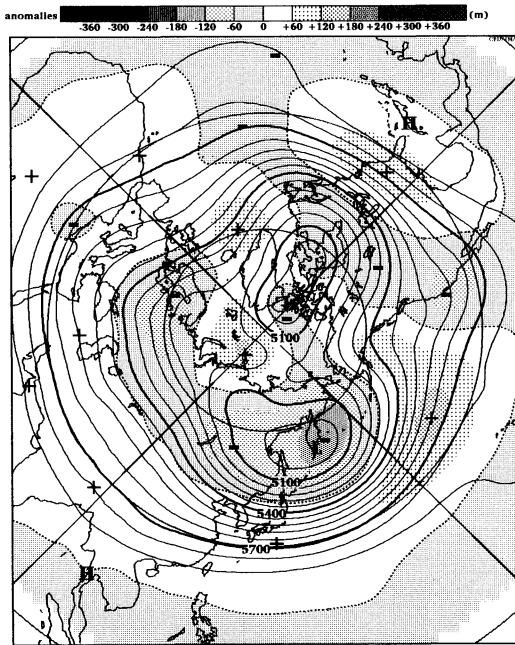
#### ⑥ 中米諸国の高温

月平均気温はアラスカからカナダ北部、米国東部から中米で高く、中米諸国では異常高温となった。一方、カナダ南部から米国西部では低くなった。

#### ⑦ アルゼンチンの高温

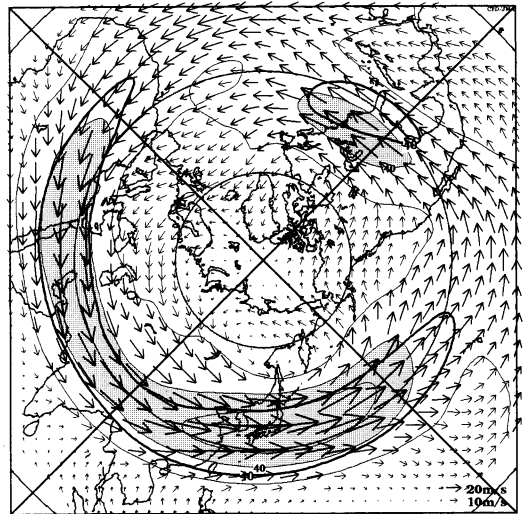
#### ⑧ オーストラリア南東部の高温

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 徳広貴之)



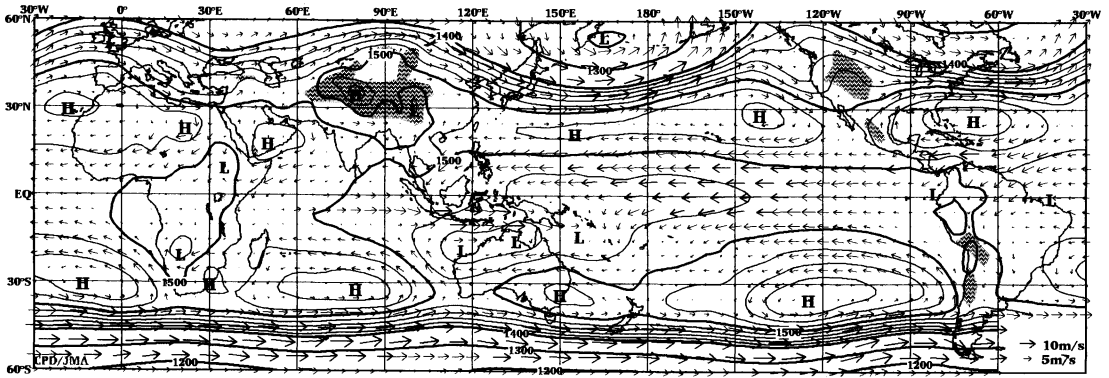
2001年2月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

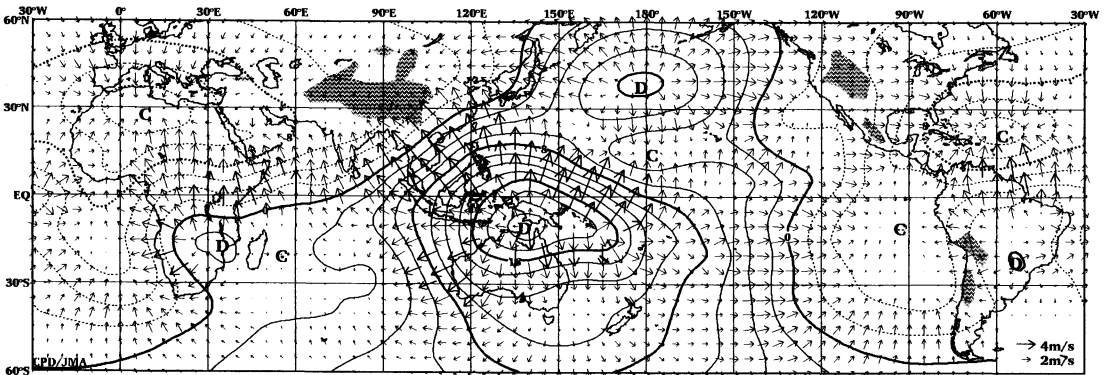


2001年2月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

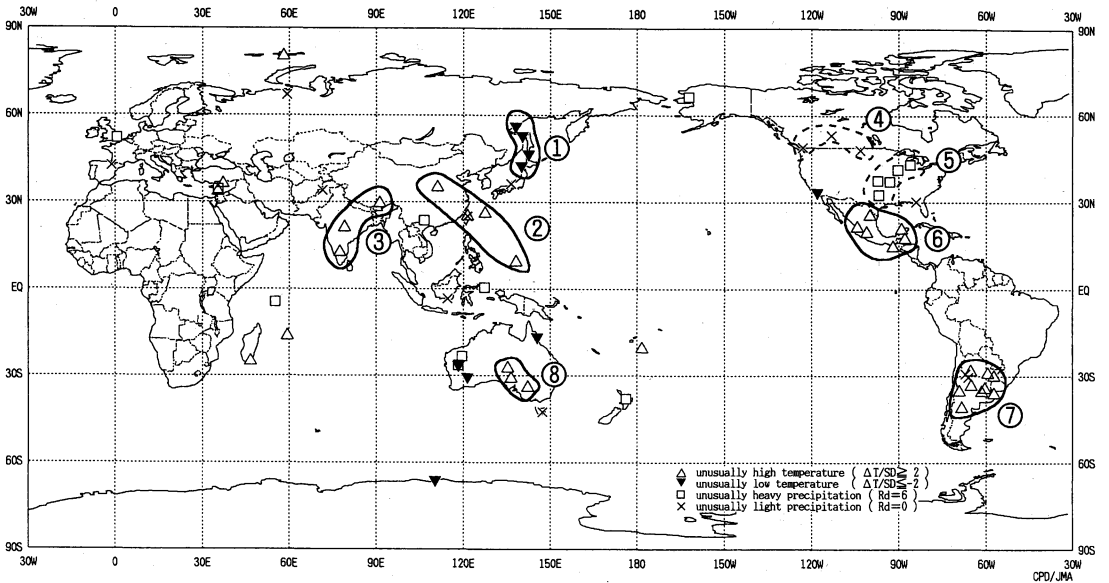
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は40 m/s以上. 太実線で囲まれた領域は平年の40 m/s以上の分布を示す. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2001年2月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2001年2月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2001年2月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.